# やすらぎ通信

年末年始号

## 瀬戸内寂聴さんと酒かす地蔵

作家であり僧侶でもある瀬戸内寂聴さんが九十九才で亡くなりました。連日、驚きと悲しみの訃報が新聞やテレビで報道されました。若い頃は子宮文学などと揶揄されたこともありました。

夫と娘を捨て他の人に身をゆだねることを堂々と小説にしたり、作家で僧侶の今東光さんのもとで出家し比叡山で修行をされたり、東北の寺の住職をされたり、世間を良いにつけ悪いにつけ、メディアを飽きさせないある意味でのスターだったと思います。そんな生き方にあこがれた女性も多くいたようで、小説家の林真理子さんや井上荒野さんもそのお一人のようです。

瀬戸内寂聴著の「小さい僧の物語」（集英社文庫）という本があります。これは全国のお地蔵様の因縁話をやさしく文章にしたもので、いろいろなお地蔵様の面白い話が出てきます。この中に「かす地蔵」と題する話が出てきます。

原本は「地蔵菩薩霊験記」で江戸時代に編纂された和綴じのもので、研究書として大島健彦監修『十四巻本地蔵菩薩霊験記』（上・下巻）があります。その地蔵菩薩霊験記の第三の五に「駿河香貫郡糟地蔵の事」と題し掲載されています。

小さい僧とはお地蔵様の事です。このお地蔵様こそが現在三明寺のご本尊である「酒糟地蔵」です。

お話は両親を疫病で亡くしたお里いう名の娘が、親の菩提を弔う供養代をつくるためと生活のために酒を造ることにした。その酒をお地蔵様が代って売り歩いたという話です。その娘のお里という名は寂聴さんの創作です。これを記念し、「おさと物語」という名でお酒のラベルをつくり、酒造メーカーにお願いし、お寺の行事などに参加された方の記念品としてお出ししています。

話は変わりますが、私の兄が庵原郡富士川町でタウン誌「庵原新聞」を長年刊行しています。二十年前、百号記念の講演の相談を受け、当時八十才の瀬戸内寂聴さんにお願いすることになり、京都嵯峨野にある寂庵を訪ねました。

当日、丁度、法話の会が催されるとの事で、一緒にお話を聴かせていただきました。女性のファンで満杯の中、漫談のような、笑いが絶えない、本当にお元気な様子が今でも思い出されます。

その後、何度か講演のお願い依頼をしましたが、源氏物語訳文の執筆の最中とのことでかないませんでした。一度、お寺にお出でいただき、本尊様にお参りして欲しかったと悔やまれてなりません。

謹んで、ご冥福をお祈りする次第です。

三明寺住職　大嶽正泰　合掌

お楽しみ抽選会では世話人さんや参加者が景品を差し入れてくれます

春風亭百栄師匠

**第127回　じぞう寄席 11/23**　　1年半ぶりに人数の制限と参加者の確認をして開催しました

## 【檀信徒行事】

十二月

○清水家・土屋家ご法事　4日
○東家・渡邊家・仁科家ご法事　5日
○岩崎・仁科・加藤家ご法事　6日
○園田家ご法事　11日
○青木家・江藤家ご法事　12日
○道了講　14日
○地蔵講　21日
○影島家ご法事
○勝又家ご法事　26日
○大晦日・除夜の鐘　31日23時30分

一月

○元旦初祈祷　1日0時
○年頭挨拶回り　1～3日
○道了講・はしごのり　6日
○山田家・渋谷家・田中家ご法事　16日
○地蔵講　18日
○鎌野家・前田家ご法事　22日
○山門大般若祈祷会　30日

二月

○道了講　1日
○地蔵講　15日
○小林家ご法事　19日
○じぞう寄席（128回）　27日

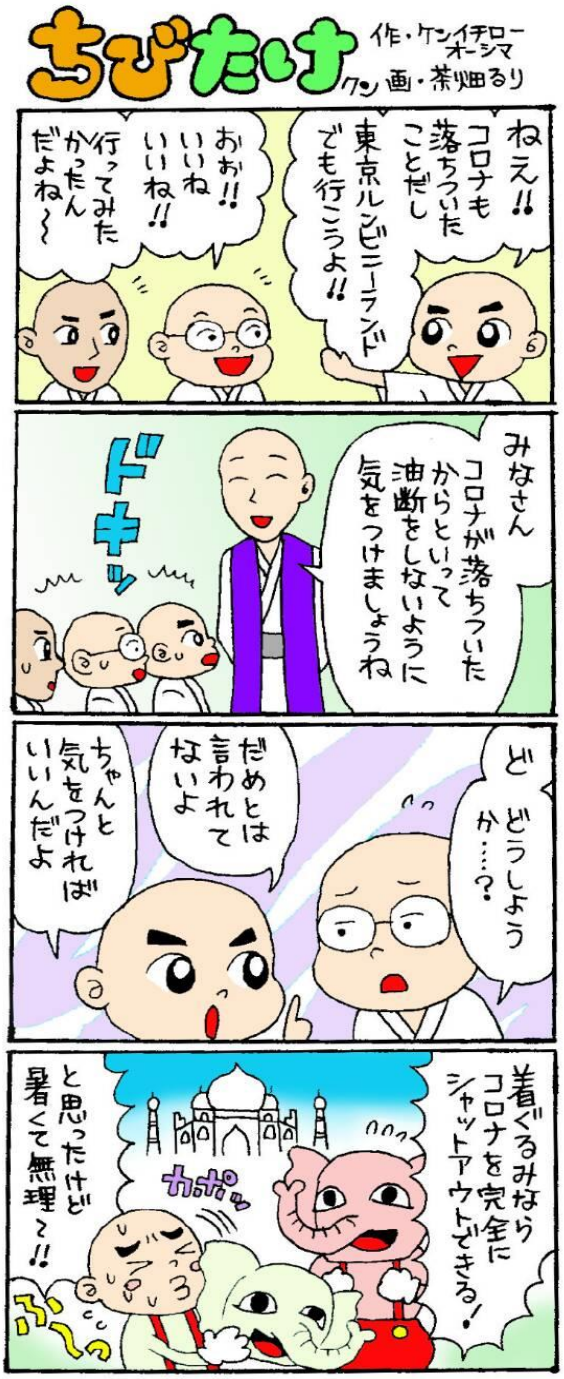
## 【三明寺やすらぎ大学】

○土曜写経会　6時
○日曜坐禅と法話の会　6時
○月例坐禅会　第一月曜日　19時30分
○月例写経会　第三月曜日　9時30分
○御詠歌（寺族）　第一・三火曜日　10時30分
○やすらぎ大学（法話の会）　休講

## 【お知らせ】

□昨年同様、もちつき、しめなわ作り、鎮火祭等の飲食を伴う行事は中止とします

□住職ラジオ法話
SBSラジオ　第四土曜日12時22分
コーストFM　76.7　月曜～金曜7時30分




## 年末鎮火祭・年頭挨拶・節分祈祷法要について

お札のお炊き上げ・年越しそば・豆まき・千人鍋・御輿は行いません。年頭挨拶、本堂内の祈祷法要は例年通りお勤めします。

疫病退散・家内安全など御祈願致します。

参拝には各自の対応とご協力をお願いします。

## 【後記】

熱海伊豆山被害の写真、門池の写真、対象的な写真を載せて良いものか悩みました。被災者の皆様のご冥福と、一日も早い復旧を祈念致します。

## 【ちびたけクン解説】

今回は「油断大敵」をテーマにしました。被り物がゾウなのは・・・お釈迦さまはルンビニでお生まれになりました。お母様のマーヤ夫人が受胎される時にお釈迦様が白象に姿を変えて夫人の右脇より入られた、というお話があります。マスクをすることにより、お互い気遣い合えますね。フツーのマスクを付けようね、ちびたけくん！

令和三年十二月一日　第八十一号
発行　曹洞宗　愛鷹山　三明禅寺
編集　大嶽　正泰
住所　沼津市大岡字三明寺四〇五一
電話　０５５・９２９・２３２３
ＦＡＸ　０５５・９２９・２３２４
ＵＲＬ　http://www.sanmyouji.com
メール　info@sanmyouji.com

**印章供養祭 10/3**　　御印章の供養と印章店の皆さまの商売繁盛の祈願をしました

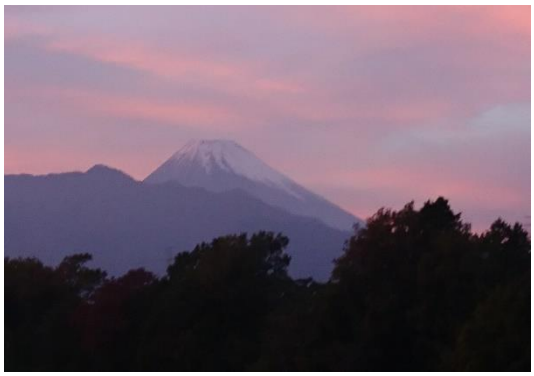
この日のメニューは
牛丼、けんちん汁、大学芋
かぼちゃの煮物･天ぷら･サラダ
沼津の野菜づくしです（笑）

更生保護施設　静岡少年の家の食事作りに参加しました

花火の燃えカス

**門池の花火**　　11/20 沼津市内各所で　12/4 門池小 50 周年記念事業で　お寺の目の前で打ち上げられました

静かな朝の水面に富士山



きれいな夕焼け

渡り鳥

**門池の風景**　ウオーキングをしているとまるで極楽かと思えるーコマに出会えます

**秋彼岸の供養 9/20**

ご参列を控えての法要を執り行いました

土曜写経会　読経・法話、ラジオ体操・写経をし、お茶にします

月例写経会　12/20 1/24 10 時から行います

**写経会**

一文字一文字気持ちを込めて

般若心経、修証義を写します

体験参加できます

**熱海の土石流**　　11 月末撮影

この日も行方不明の方の捜索をしていました

報道画面から想像していた以上の被害の広さに驚きました